

2019年度第2回(2020年2月3日)  
IIPPF企画委員会 情報共有セミナー活動報告

IIPPF事務局

IIPPFでは、地域やテーマごとに海外における模倣品対策に取り組んでおりますが、2020年2月3日に実施されたセミナーでは、企業の間で関心の高い税関での水際対策を中心に、様々な視点から講演が行われ、約100名の方々にご参加頂きました。

本セミナーでは、冒頭日本弁理士会の外川奈美弁理士、谷口登弁理士、橋本千賀子弁理士より、「インターネット上の模倣品対策と税関制度の活用」と題し、①EC サイトやネット上で掲載されている知財侵害疑義品について、権利者から税関への輸入差し止め申請手続きにより侵害品として認定されることで、市場へ出回る前に模倣品を差止られる点や、②プロバイダー責任制限法では、一定要件下でプロバイダーの責任を認めている点等について、専門家の立場から詳しく説明頂きました。

続いて、IIPPF 地域横断活動の大橋正憲氏(日産自動車株式会社)より、世界中で発生している模倣品被害に対し、特定地域での対策を無駄なく検討できる方法として、物流ルートに基づく分析方法を紹介頂きました。

最後に、経済産業省模倣品対策室の坂野聡室長からは、日本政府の SDGsアクションプランにおける模倣品対策の位置付けと重要性について、紹介頂きました。

本セミナーでは、各講師が様々な視点からECサイトや水際での対策等を取り上げたことで、会場からは数多くの質問が寄せられました。

以上

